

東日本はなぜオプティミスト級セーリングが強いのか
-海上気象から強さの要因を探る-

高松市立紫雲中学校 1年

津川翔

今回の目的

JODAナショナルチーム選考結果

	R4	R3	R2	住所
江の島ヨットクラブジュニア	5	6	10	神奈川県藤沢市江の島1-12-2
B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3	5	2	兵庫県芦屋市浜風町30-2
海陽海洋クラブ	2	1	1	蒲郡市海陽町1-7
広島セーリングスクール	1	0	0	広島市西区観音新町4-14-6
横浜ジュニアヨットクラブ	2	1	1	神奈川県横浜市磯子区新森町7-2
江東区立小中学校セーリング部	2	0	0	東京都江東区若洲3丁目1-1
夢の島ヨットクラブ	1	0	1	東京都江東区夢の島3丁目2
横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	0	1	1	神奈川県横浜市磯子区磯子1丁目5-2 8
YMFS ジュニアヨットスクール葉山	0	1	1	神奈川県三浦郡葉山町堀之内50-2
真野浜セーリングクラブ	0	1	0	滋賀県大津市今堅田3丁目2 5
B&G 時津海洋クラブ	0	1	0	長崎県西彼杵郡時津町日並郷3 6 3 0
鹿児島ジュニアヨットクラブ	0	1	0	鹿児島市平川町 6247
B&G 高松海洋クラブ	0	0	1	香川県高松市浜ノ町67-1

日本オプティミストディンギー協会の公表資料から集計(<http://www.japan-opti.com/>)

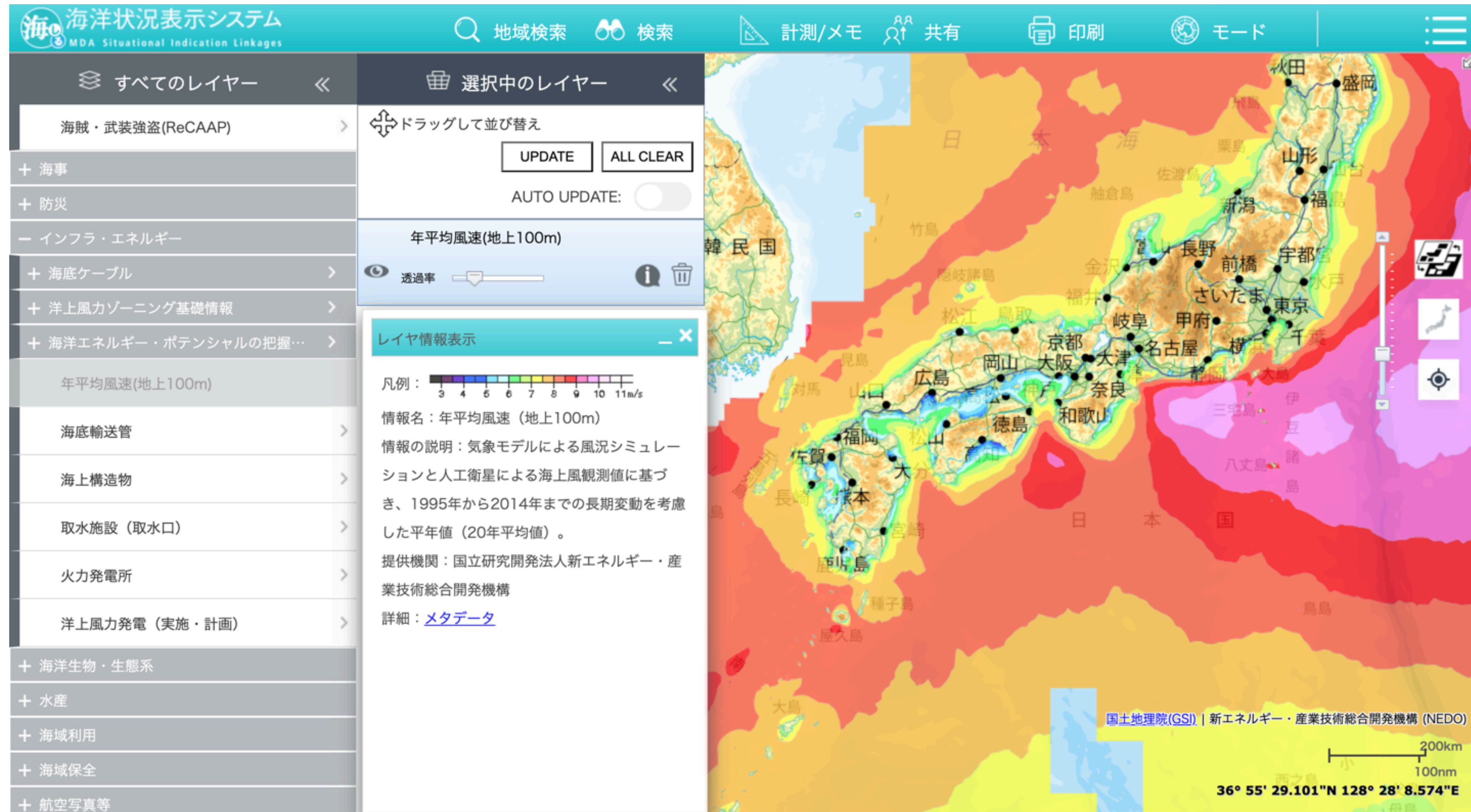
過去3年間の選考結果：東日本37人 西日本15人

海しるの活用



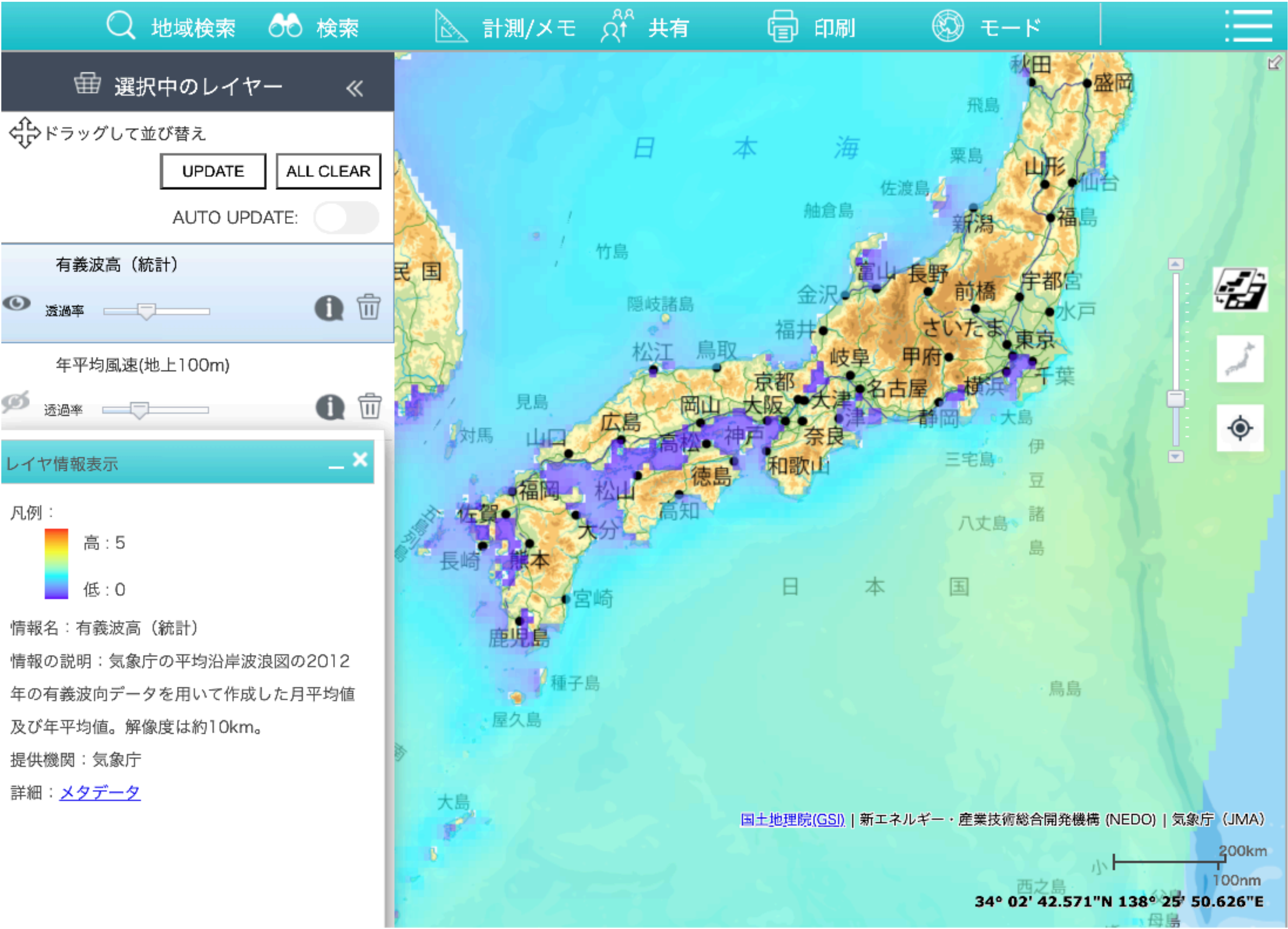
海上気象から強さの特徴を探る

東日本の太平洋側で年平均風速が強い



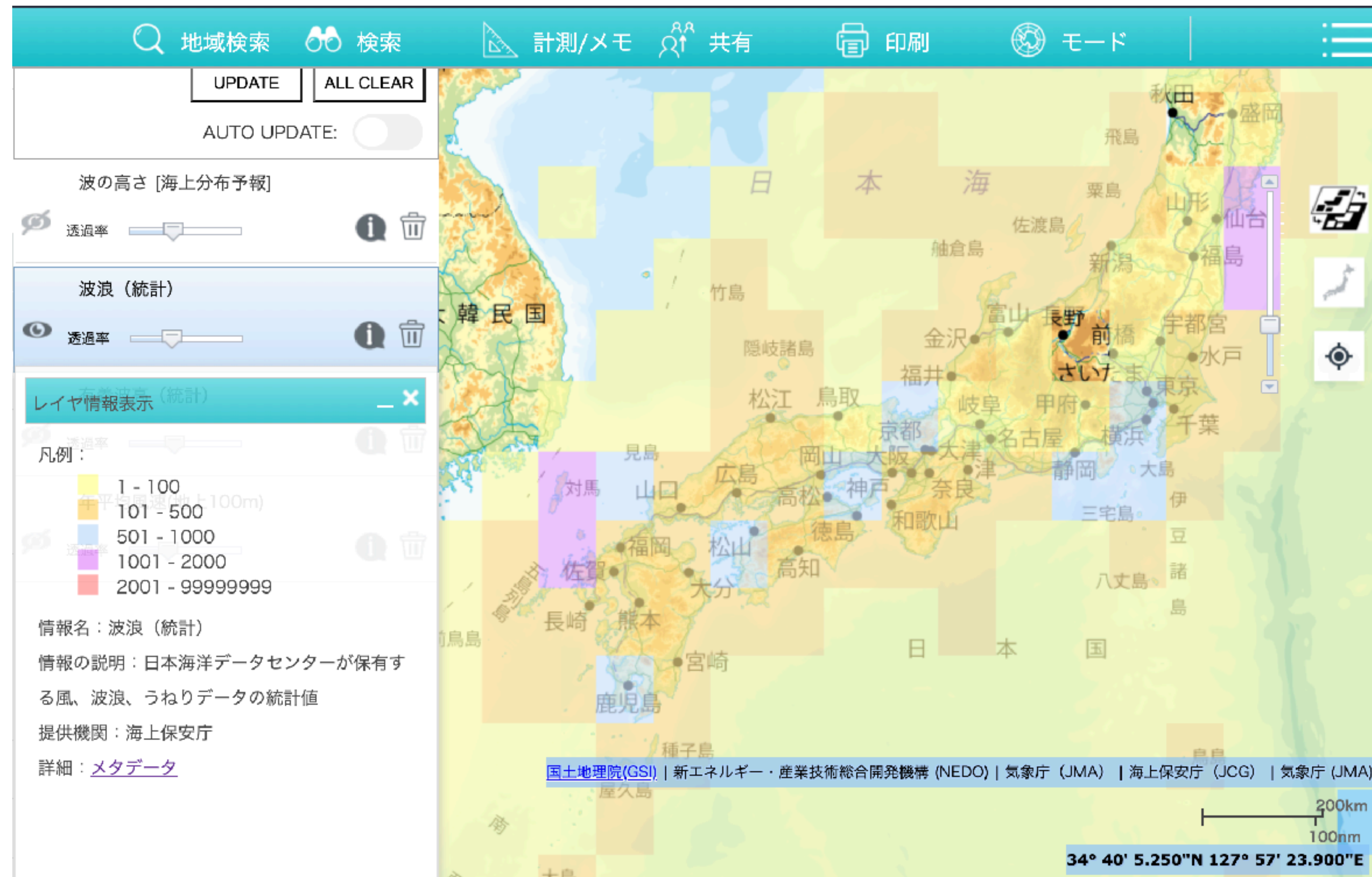
東日本の太平洋側は風浪が強いと考えられる

東日本の太平洋側で有義波高が高い



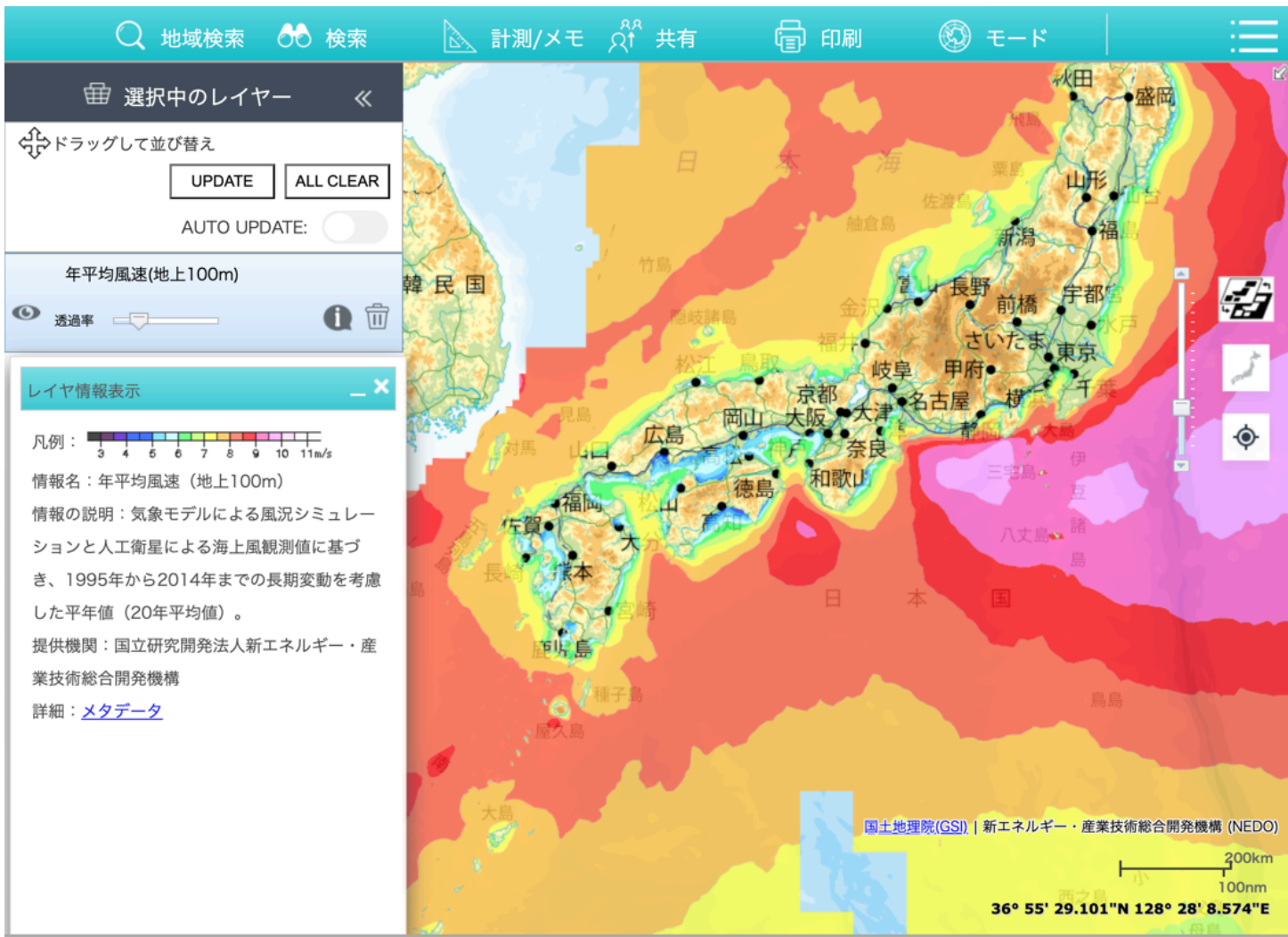
東日本の太平洋側に吹く強い風速による影響と考えた

太平洋側と瀬戸内海側の波浪の違い

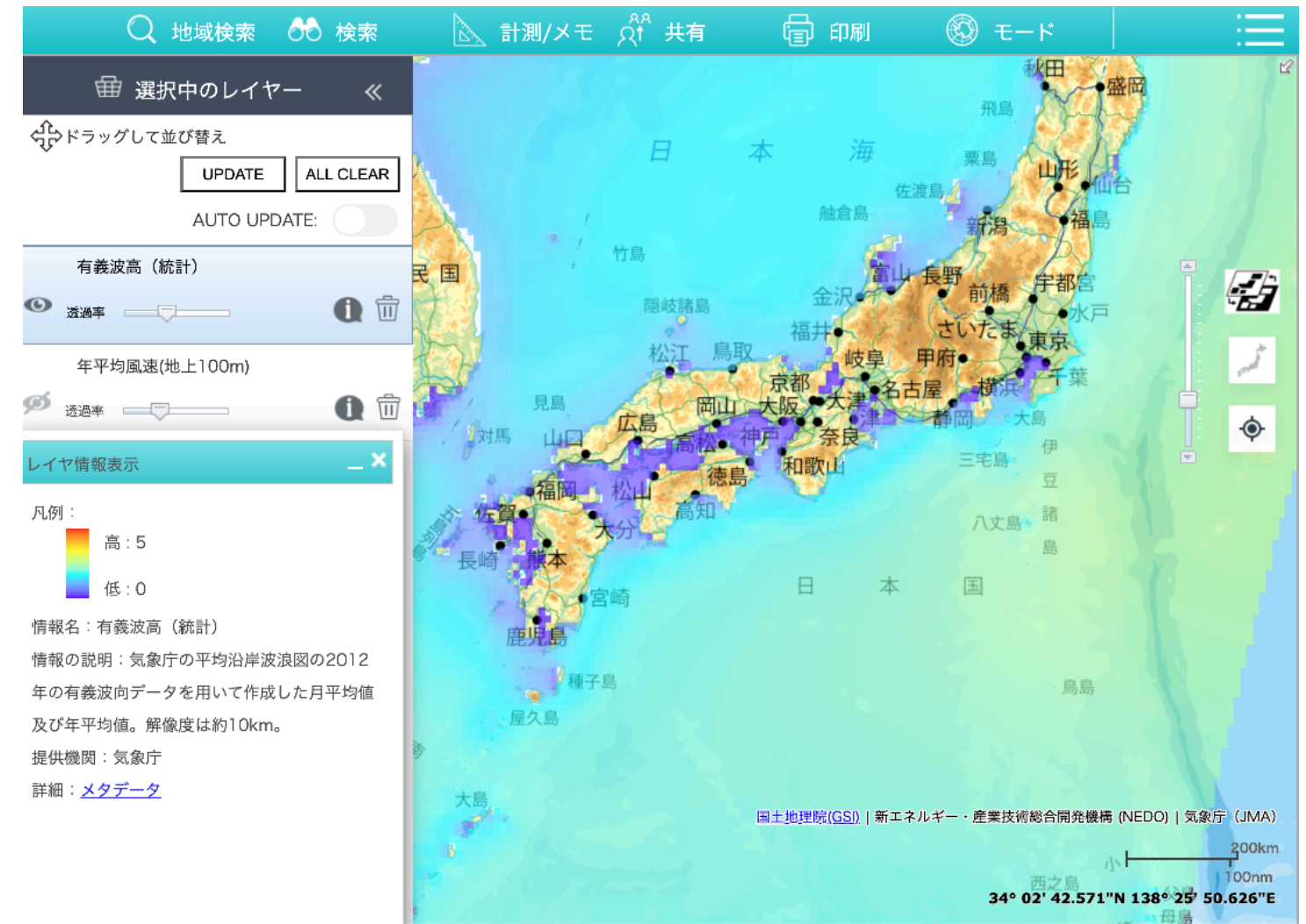


太平洋側は波の高い風浪 瀬戸内海側は波の低いうねり

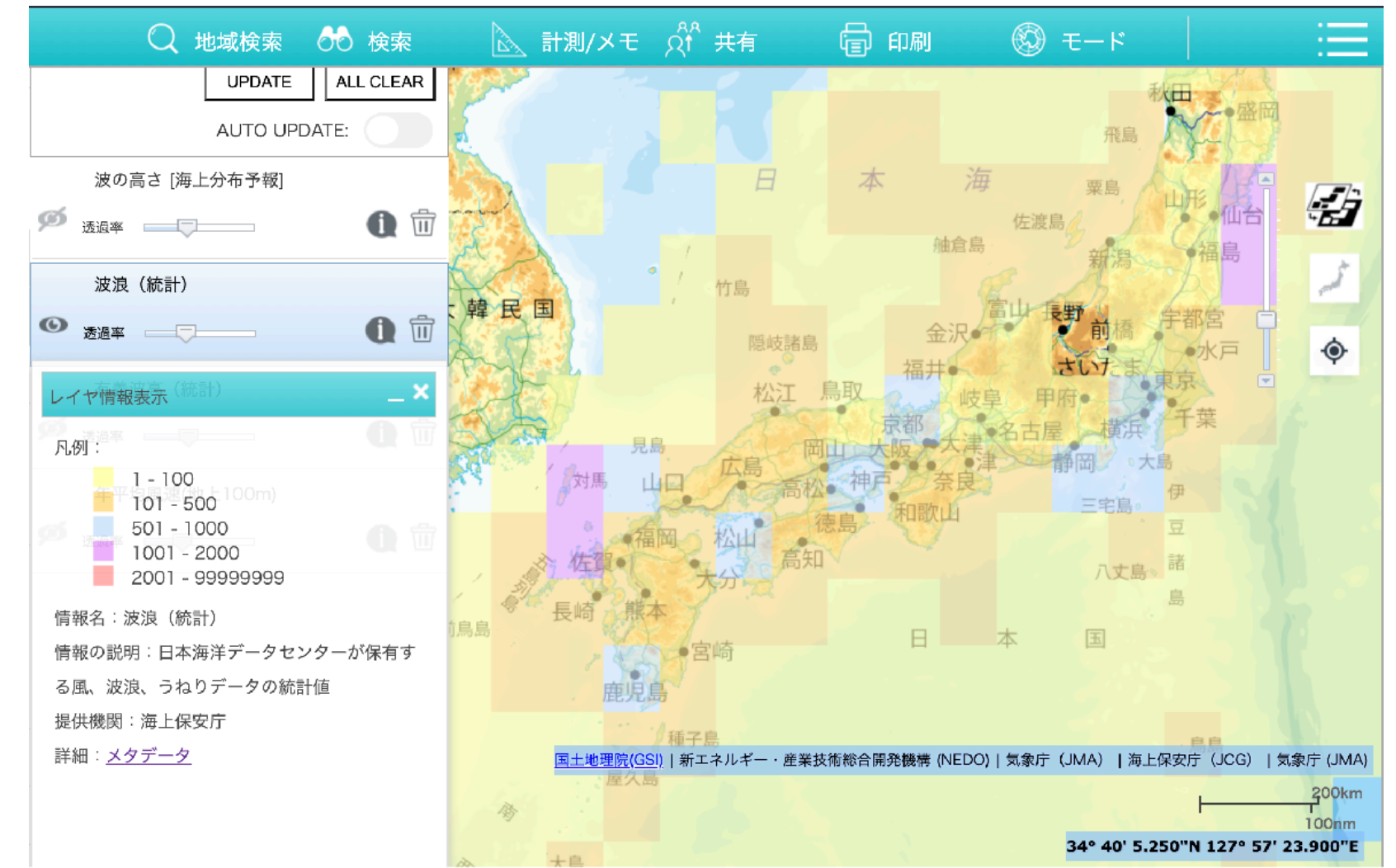
東日本が強い要因



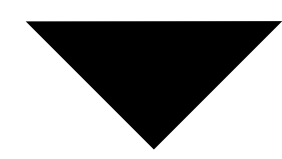
風速が強い



有義波高が高い



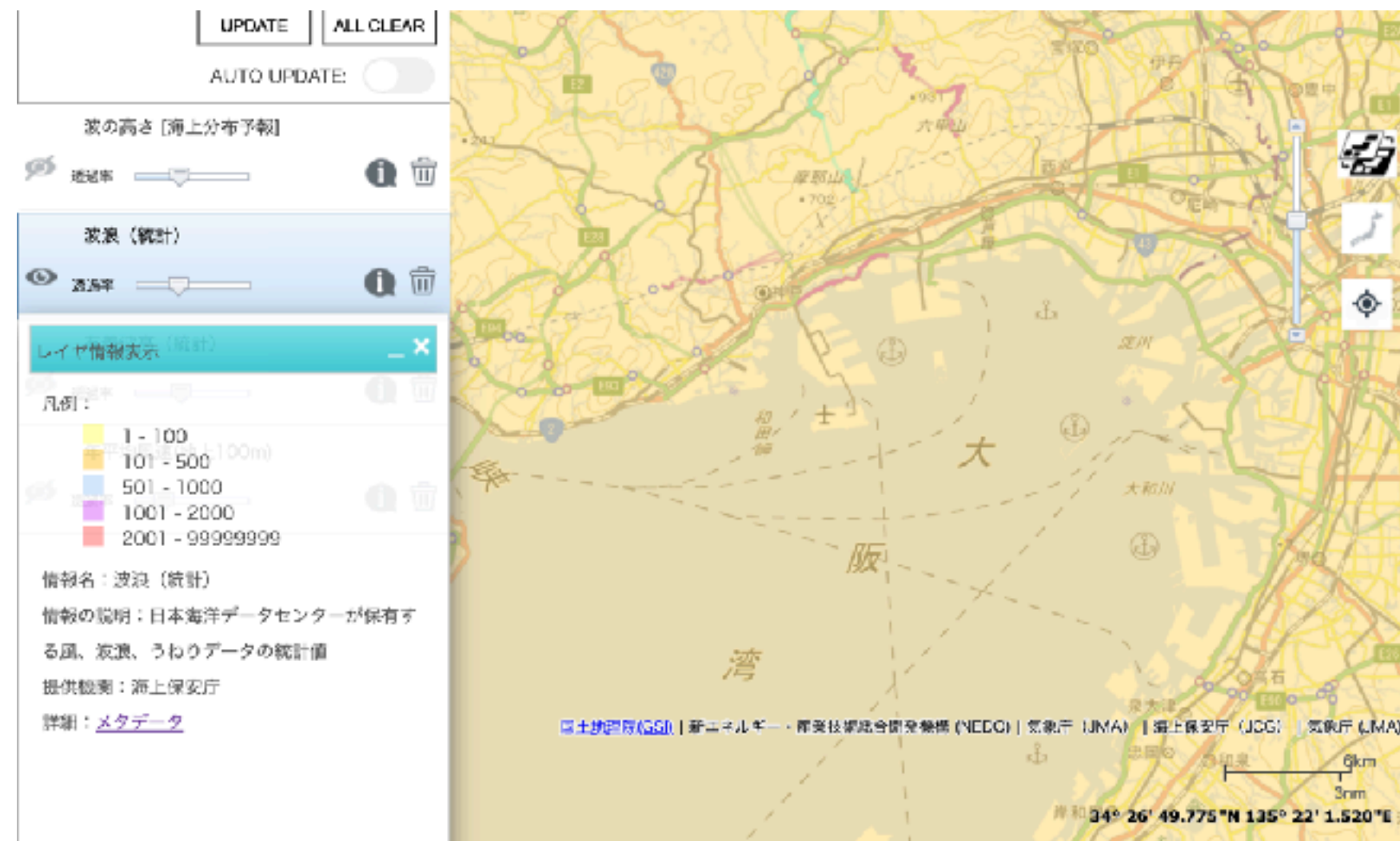
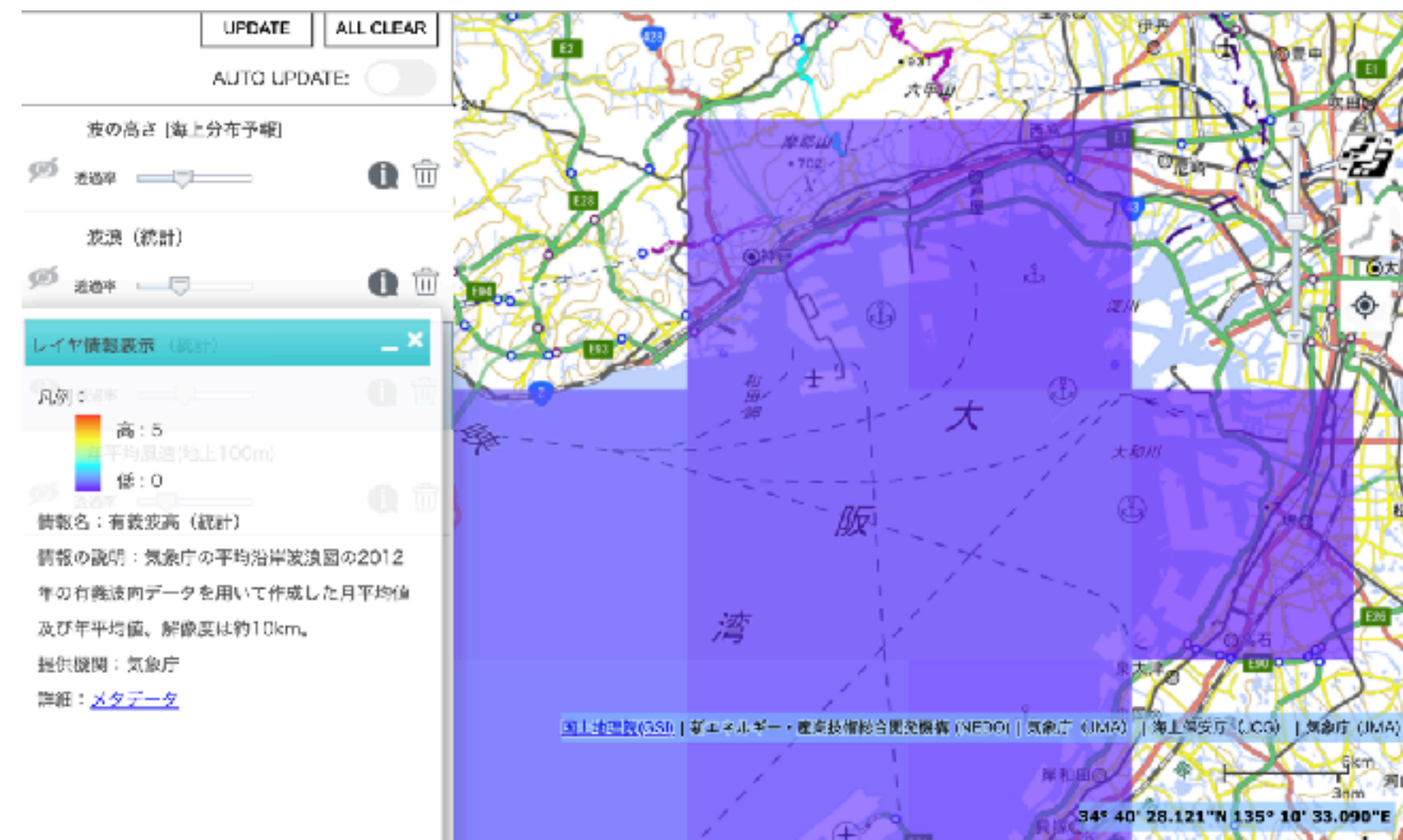
波浪が多い



強風下での帆走技術の高さ

ナショナルチーム最終選考会は2月頃に東日本の太平洋側で開催される

瀬戸内海側の兵庫はなぜ強い



軽風下での帆走技術の高さ

強風が続くとは限らないため軽風下の帆走技術に特化する

考察

風

過去3年間28R中17Rで
5m以下の軽風

愛知県ヨット連盟の公表資料から集計(<https://www.ayf.jp/race>)

軽風下の帆走技術も大切

東日本はどんな風にも対応
できる選手が多い

軽風下の帆走技術に特化

波

過去3年間28R中13Rで
0.5m以上の波

愛知県ヨット連盟の公表資料から集計(<https://www.ayf.jp/race>)

西日本側は
経験する機会が少ない

経験する機会を
確実に成功させる

波に合わせたトルキング
波の風下側に下るサーフィング

まとめ

海上気象では風速だけでなく
波浪も大切だと考えた

艇でじっとしていることが多い

波の状態に艇を合わせる技術
を見つけない

海上気象を言い訳にしない！